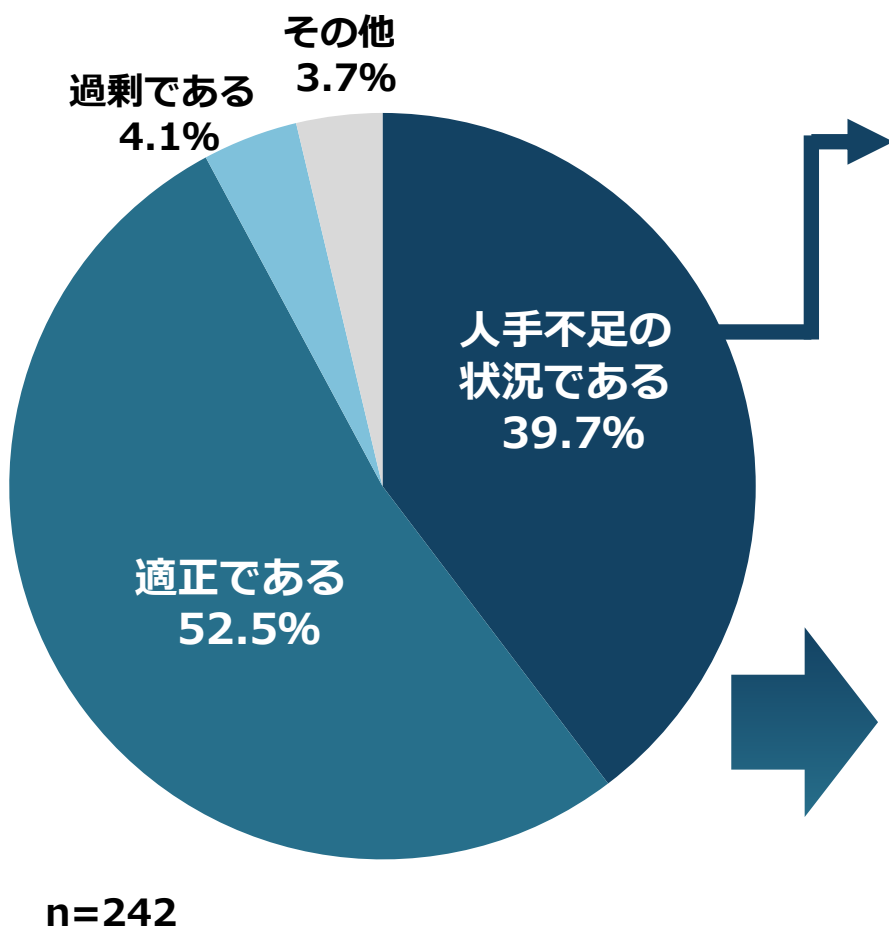


## 第3回（7-9月期）

# 川口商工会議所クローズアップ 市内景況調査

2024年11月 川口商工会議所

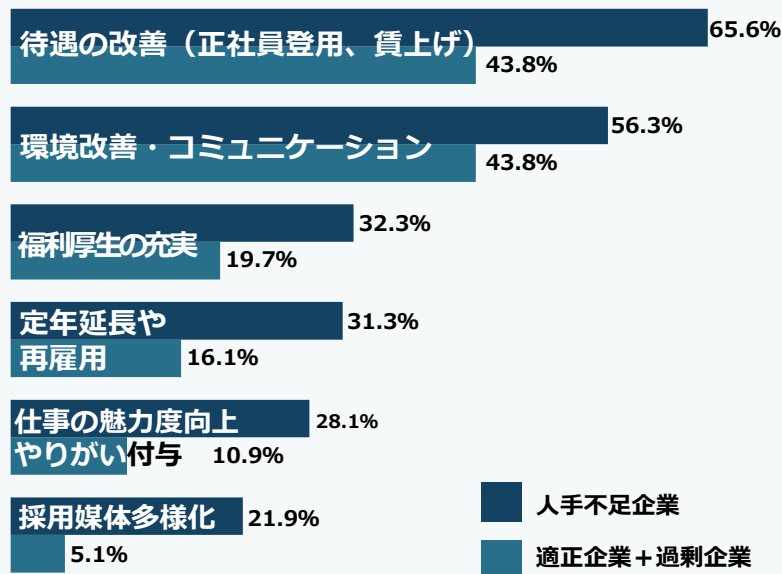
# 【トピックス】 人材確保・人手不足の状況と対策



## ① 人材確保・人手不足の状況（人手不足の部署と求める人材の経歴）



## ② 人材確保・人手不足の対策



## ③ 行政や商工会議所の支援への期待

| 回答項目                   | 回答数 |
|------------------------|-----|
| 雇用関係助成金・補助金の拡充         | 151 |
| 採用に向けたSNS・HPの活用支援・情報提供 | 44  |
| ホームページ内のマッチング支援        | 42  |
| 合同企業面接会の実施             | 32  |
| 人材育成や採用に関するセミナーの実施     | 24  |

### 雇用関係助成金について



- ・知っているが申請したことはない（45.5%）
- ・知らない（29.3%）
- ・今までに活用したことがある（22.7%）

## 考察

- ① 人材充足状況について「人手不足の状況である」と回答した企業は39.7%で、「現場スタッフ」「技術スタッフ」「営業職」といった**現場職の不足感が強い**。求める人材の経歴は「中途採用人材」「高卒以外の新卒・第2新卒」が多く、**間接部門の採用や社員育成が後回しとなり即戦力を求める傾向が強い**ことが推察される。
- ② 人手不足への対策は人手不足企業、適正+過剰企業共に「待遇の改善」「環境改善・コミュニケーション」が多い。
- ③ 行政や商工会議所の支援への期待は「雇用関係助成金・補助金の拡充」が多いが、雇用関係助成金を活用したことがある企業は22.7%にとどまる。（**雇用関係助成金**は約15種類あり、一定の条件を満たした上で人材雇用を行うと利用できる人手不足に役立つ支援制度で**商工会議所に専門相談窓口を設置**しています。ご相談ください）

# 【景況感】 ◆全業種の業況（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）

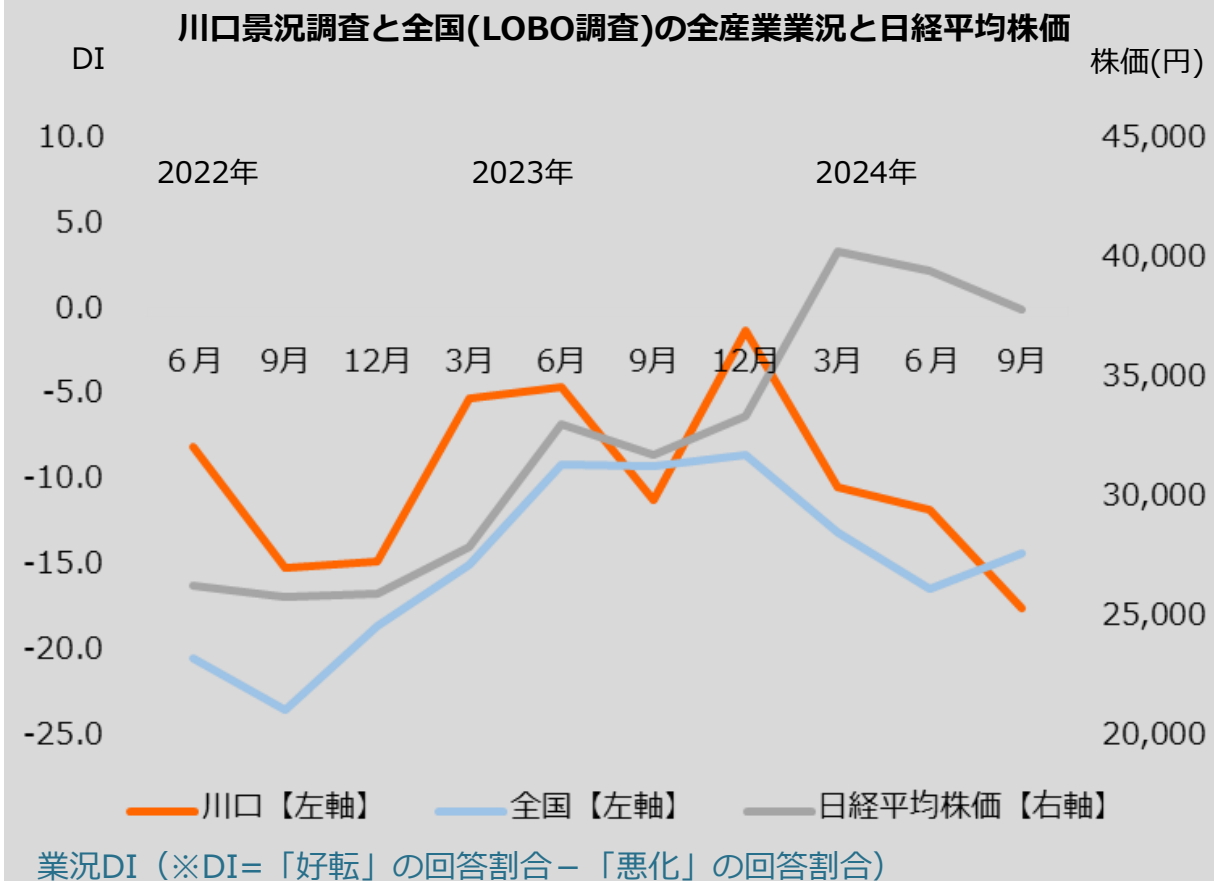
業況DIは、コスト増が厳しく、全業種で悪化  
先行きは、消費が弱いことから、慎重な見方が続く

## ●全産業合計の業況は▲17.4（前期比▲5.8ポイント）

- 全業種で業況が悪化している。高止まりする仕入価格、輸送費の上昇、人材確保に向けた賃上げの三つが重いコスト負担の原因となり、当期はこれに酷暑による水道光熱費の増加が加わり、業績の足かせとなった。このうち仕入価格は、円安基調に一定の歯止めがあったことで楽観的な見通しもみられる。
- 製造業は価格転嫁の一巡で販売価格の上昇に陰りが見られるなど、売上高の減少が続く。建設業は依然として人手不足が深刻で、工期延長や外注費増加に伴う採算悪化を引き起こしている。卸売業は価格転嫁が進み売上高は堅調も、輸送費の上昇がネックに。小売業とサービス業は消費者の節約志向で厳しい状況が続き、特に小売業では資金繰りが全業種で最も厳しい値に。

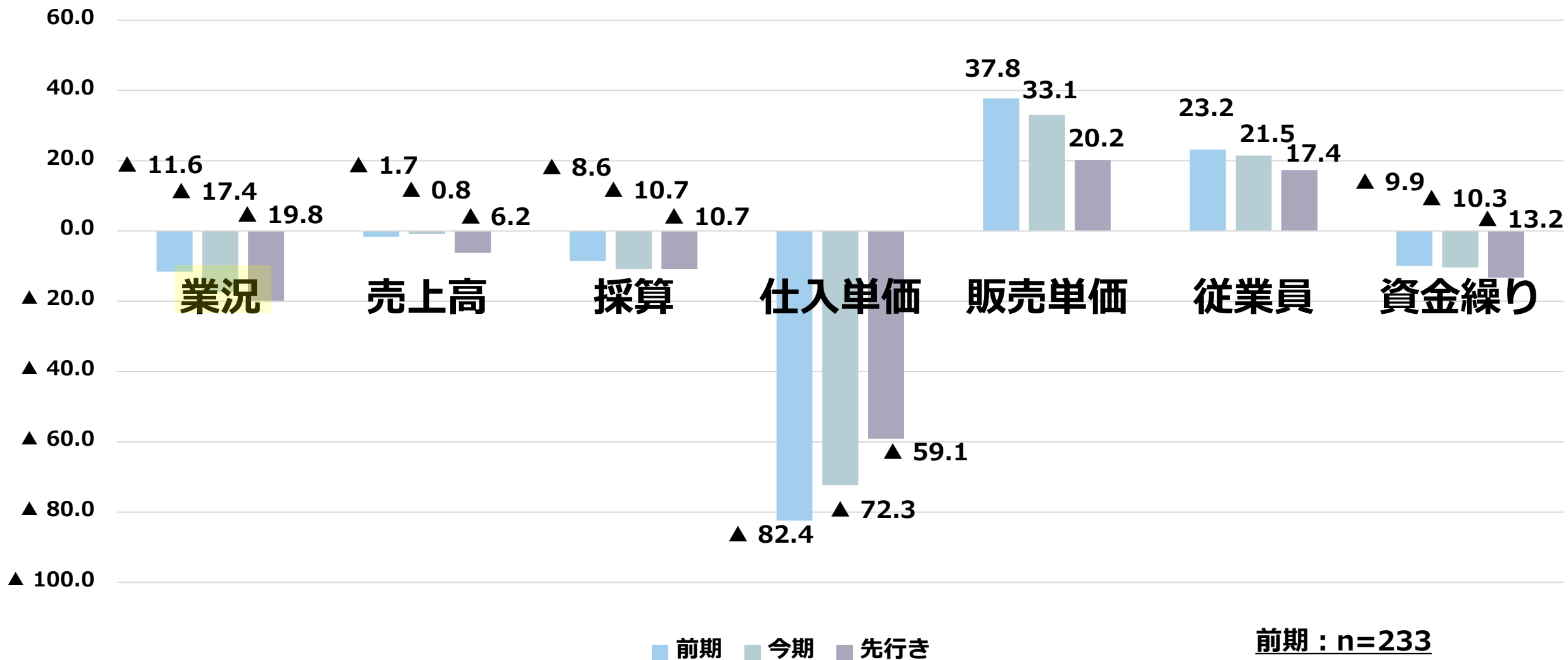
## ●先行き見通しは▲19.8（今期比▲2.4ポイント）

- 全業種で業況が悪化すると予想している。消費者の節約志向に伴う消費減退や、最大の上げ幅となった最低賃金引き上げに伴い賃上げを迫られるなど、厳しい外部環境が続いていることから慎重な見方が強い。
- 一方で、円安解消の動きが広がったことで仕入価格の上昇傾向が鈍化することや、小売業を除き人手不足解消の動きを予想するなど、好材料も見えつつある。



|          | 2022年 |       |       |       | 2023年 |       |       |      | 2024年 |       |       | 先行き見通し |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|
|          | 3月    | 6月    | 9月    | 12月   | 3月    | 6月    | 9月    | 12月  | 3月    | 6月    | 9月    | 12月    |
| 全産業      | ▲15.8 | ▲7.9  | ▲15.0 | ▲14.6 | ▲5.1  | ▲4.4  | ▲11.0 | ▲1.1 | ▲10.3 | ▲11.6 | ▲17.4 | ▲19.8  |
| 製造       | 6.9   | 0.0   | ▲28.0 | ▲10.0 | 1.9   | ▲2.9  | ▲4.0  | ▲5.7 | ▲2.5  | ▲14.1 | ▲15.3 | ▲16.5  |
| 建設       | 9.1   | 9.1   | 0.0   | ▲31.6 | ▲11.1 | ▲2.5  | ▲7.3  | 5.4  | ▲6.5  | 0.0   | ▲11.4 | ▲8.6   |
| 卸売・小売・飲食 | ▲45.5 | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -    | -     | -     | -     | -      |
| 卸売・小売    | -     | ▲35.7 | ▲26.9 | ▲28.0 | ▲19.5 | ▲17.9 | ▲15.2 | 0.0  | -     | -     | -     | -      |
| 卸売       | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -    | ▲20.0 | ▲17.9 | ▲12.9 | ▲22.6  |
| 小売       | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -    | ▲22.7 | ▲26.8 | ▲40.0 | ▲40.0  |
| 飲食       | -     | ▲28.1 | ▲30.0 | ▲28.1 | ▲18.2 | 66.7  | ▲20.0 | 5.0  | -     | -     | -     | -      |
| サービス     | ▲28.1 | ▲9.5  | 3.4   | 4.5   | 0.0   | ▲2.6  | ▲17.4 | ▲5.0 | 0.0   | 2.7   | ▲7.3  | ▲14.6  |

## 【景況感】 ◆全産業の動向（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）



前期：n=233  
今期・先行き：n=242

### 考察

- ・ 業況は、採算の悪化等で今期・先行き共に悪化しており、悪化傾向は進行する見通しである。
- ・ 売上高は、今期は減少傾向がやや鈍化するが、先行きは減少傾向が再び進行する見通しである。
- ・ 採算は、売上高の減少等で、今期は悪化傾向が進行し、先行きは悪化傾向が継続する見通しである。
- ・ 仕入単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、円安の緩和等で上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 販売単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、消費の弱さで上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 従業員は、今期・先行き共に人手不足が続くものの、不足傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 資金繰りは、今期・先行き共に悪化しており、悪化傾向は進行する見通しである。

## 【景況感】 ◆業種別の業況（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）



製造業

（今期）業況は悪化している。価格転嫁の一巡で販売単価の上昇にも陰りが見られ、売上高は減少傾向が続く。これに加えて仕入単価の高止まりや賃上げの影響で採算も悪化している。  
（先行き）業況は悪化が進行する見通し。販売単価の上昇はさらに鈍化。原価上昇が激しく価格交渉が間に合わないとの声もある。円安解消期待で仕入単価の上昇傾向が鈍化するなど好材料も。



建設業

（今期）業況は悪化している。売上高の増加傾向は続くも人手不足に起因する工期延長等で鈍化。また仕入単価の上昇は鈍化するも、人工単価上昇等で採算の合わない工事が増加している。  
（先行き）業況は悪化が続くも鈍化の見通し。足元の需要減少に加え、販売単価の上昇は鈍化し、売上高の上昇も鈍化。一方で外注費上昇は続くも仕入単価は落ち着きを見せ、採算改善を予想。



卸売業

（今期）業況は悪化している。価格転嫁の伸展による販売単価上昇もあって、売上高は堅調。一方で、仕入価格は高止まりが続くと共に、輸送費の上昇の影響を受けて採算は悪化が続いている。  
（先行き）業況は悪化が進行する見通し。消費が弱いことや価格転嫁の一巡で販売単価の上昇は鈍化。仕入単価の高止まりが続くと共に、輸送費上昇の影響が見通せず、採算悪化が進むと予想。



小売業

（今期）業況は悪化している。消費者の節約志向に伴う売上高の減少や仕入単価の高止まり等で採算悪化は継続。これに加えコロナ融資の返済開始により、資金繰りは全業種で最も厳しい状況。  
（先行き）業況は悪化が続く見通し。売上高、採算、販売単価は今期と同程度の厳しい水準を見込み、資金繰りも悪化が続く。一方で人手不足も全業種で唯一進行するなど、厳しい状況を予想。



サービス業

（今期）業況は悪化している。販売単価上昇が鈍化する一方、消費者の節約志向に伴う飲食業の客数減少等で、売上高は伸び悩んでいる。これに原材料高騰や賃上げが拍車をかけ、採算は悪化。  
（先行き）業況は悪化が進行する見通し。消費減退により生活関連サービス業や飲食業の見通しが不透明で、価格転嫁も進まず売上高は減少。原価高騰も後押しし採算はさらに悪化を予想する。

## 【景況感】 ◆ 経営状況に関する具体的な声（主要なものを抜粋）



製造業

●原価上昇が激しく、価格転嫁が間に合わない（金属製品製造業） ●輸送費や為替の先行きが不透明で、価格交渉を先送りせざるを得ない（化学薬品製造業） ●仕事量を増やすと人手不足を痛感するジレンマに陥っている（機械加工業） ●円安で外国人労働者の仕送り額が目減りし、勤労意欲が減退している（医療機器製造業） ●技能実習生の滞在期間を延ばしてほしい（設備機器製造業）



建設業

●現場監督を高収入で引き抜かれ、監督不足で仕事量を増やせない。協力会社の職人不足も顕著。労務費高騰による予算超過もあり、収益面で厳しい（総合建設業） ●資材やガソリン価格の高騰で収益性が悪化している（電気通信工事業） ●慢性的な人手不足が続くが、ハローワークで求人しても問い合わせが来ない（電気配線工事業） ●職人の高齢化が進んでいる（金物工事業）



卸売業

●円安による輸入商材高騰、物流の価格上昇、賃金上昇の三つに苦しんでいる（計器卸売業） ●女性のパートタイマー確保に苦戦（化粧品卸売業） ●中小企業への価格転嫁が進まず、大企業も消極的なところがある。行政は対応してほしい（非鉄金属卸売業） ●コメ価格の急騰で価格転嫁が追いつかない（米穀精米業） ●円安で海外輸出は順調だが、原材料高騰が厳しい（食品卸売業）



小売業

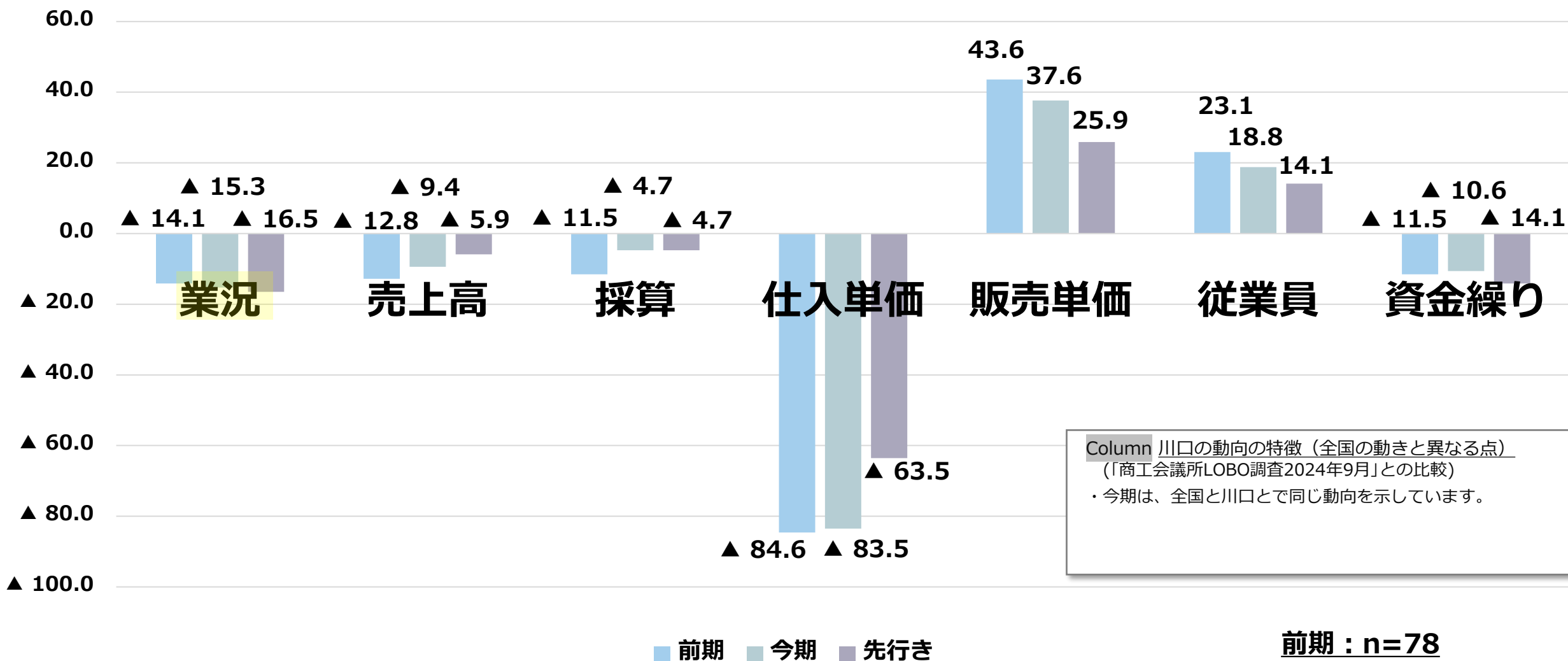
●材料が毎週上昇しており、どうしようもないのが本音（パン製造小売業） ●輸入商材のため原油高や円安が痛手（LPガス販売業） ●時間外労働の上限を緩和してほしい。稼ぎたくても稼げないことが求人難に拍車をかけている（自動車販売業） ●会員同士のマッチング支援を強化してほしい（電気器具販売業） ●採用ホームページの作り方や集客のセミナーを開いてほしい（新聞販売業）



サービス業

●燃料費高騰等は厳しいが、人材確保のためベースアップした（産業廃棄物収集運搬業） ●コメ価格の高騰が激しい。減反ではなくコメの需要促進に注力してほしい（居酒屋） ●電気代が上昇しているが価格転嫁はできず厳しい（コンサルタント業） ●金利上昇が住宅需要減退を招かないか心配（不動産業） ●物価上昇は消費税率引き下げで補うことで、国民の生活を守ってほしい（飲食店）

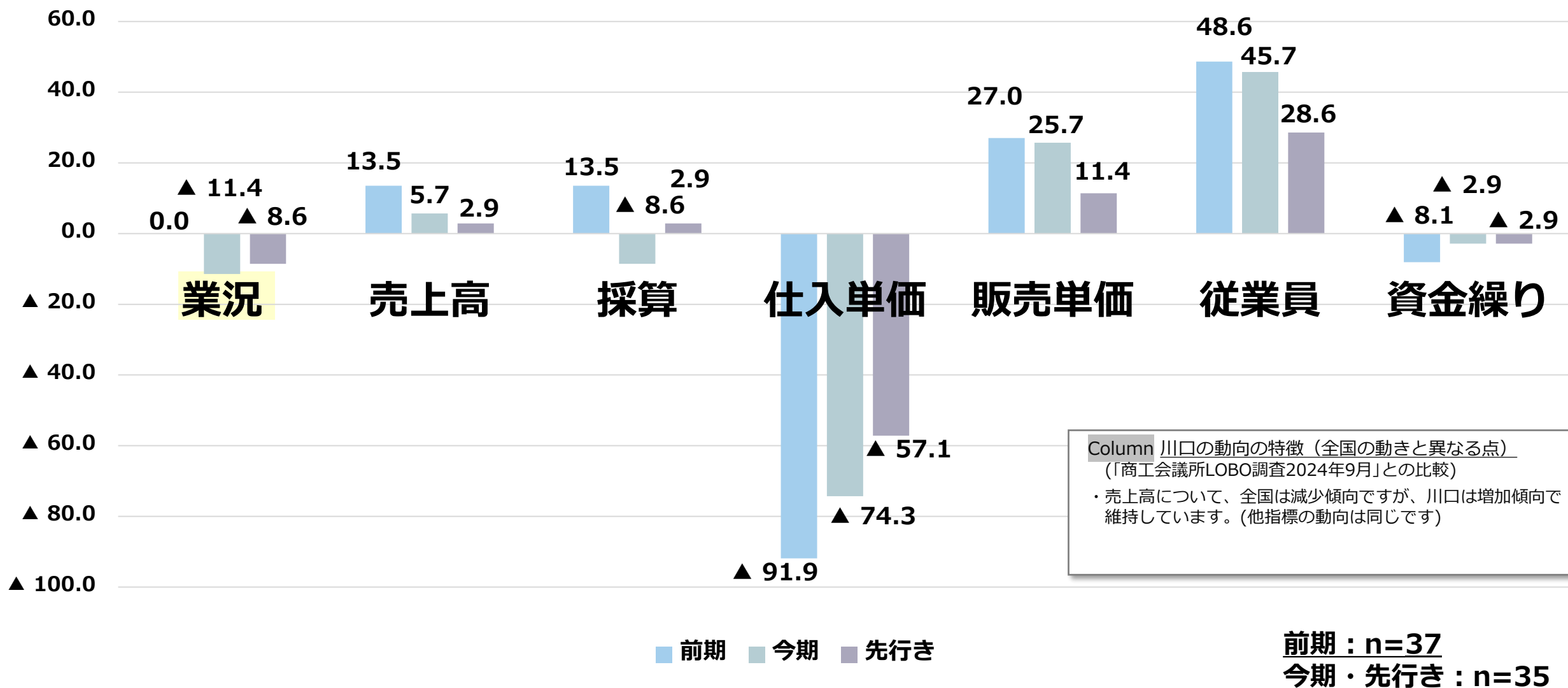
## 【景況感】 ◆製造業の動向（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）



### 考察

- ・ 業況は、売上高減少や採算悪化が続く影響で、今期・先行き共に悪化傾向が進行する見通しである。
- ・ 売上高は、今期・先行き共に減少が続くものの、足元の需要回復の影響で減少傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 採算は、売上高と歩調を合わせ、今期・先行き共に悪化が続くものの、悪化傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 仕入単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 販売単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 従業員は、今期・先行き共に人手不足が続くものの、不足傾向は鈍化する見通しである。
- ・ 資金繰りは、今期は悪化が続いており、先行きは悪化傾向が進行する見通しである。

## 【景況感】 ◆建設業の動向（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）

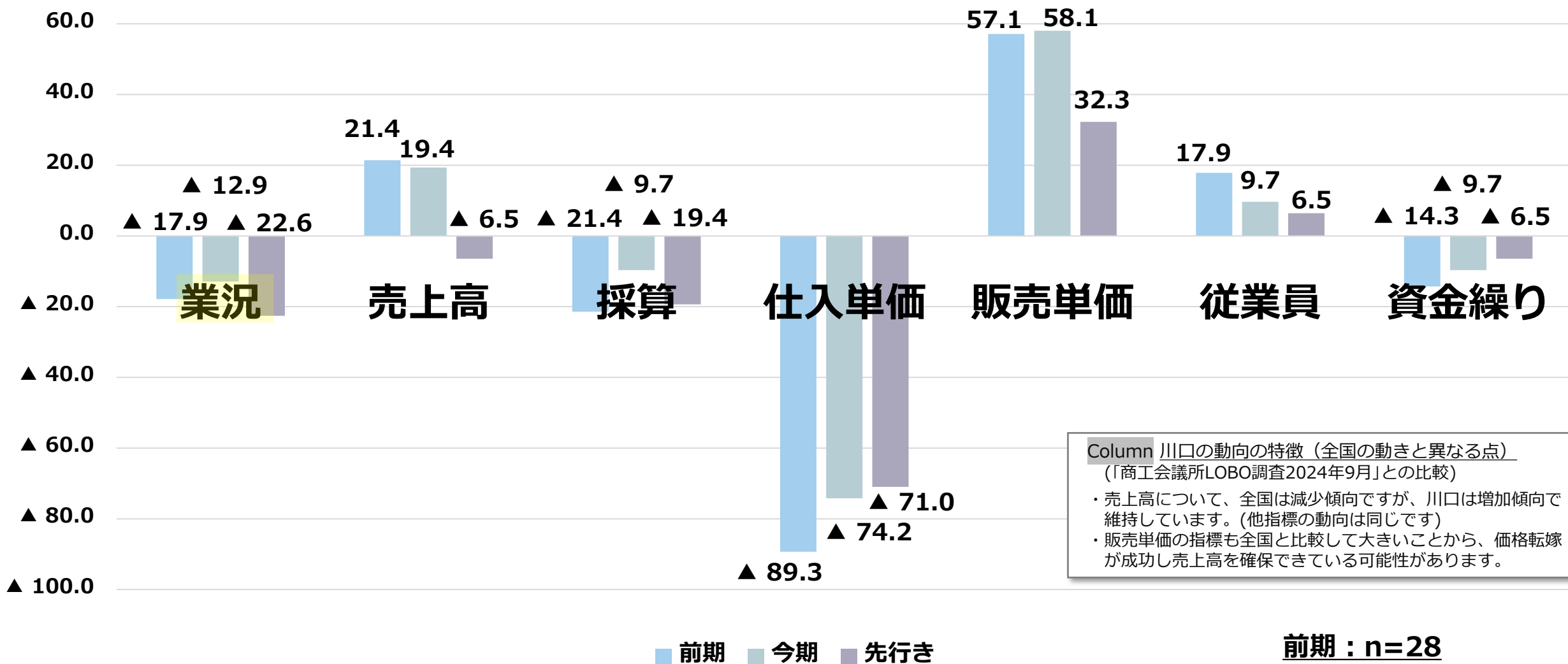


### 考察

- ・業況は、今期は採算悪化の影響等で悪化に転じ、先行きは悪化傾向は鈍化する見通しである。
- ・売上高は、今期・先行き共に増加が続くものの、足元の受注減少で増加傾向は鈍化する見通しである。
- ・採算は、今期は売上高減速や仕入単価上昇の継続等で悪化に転じるものの、先行きは好転する見通しである。
- ・仕入単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・販売単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・従業員は、今期・先行き共に人手不足が続くものの、不足傾向は鈍化する見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向が鈍化し、先行きは悪化傾向が続く見通しである。



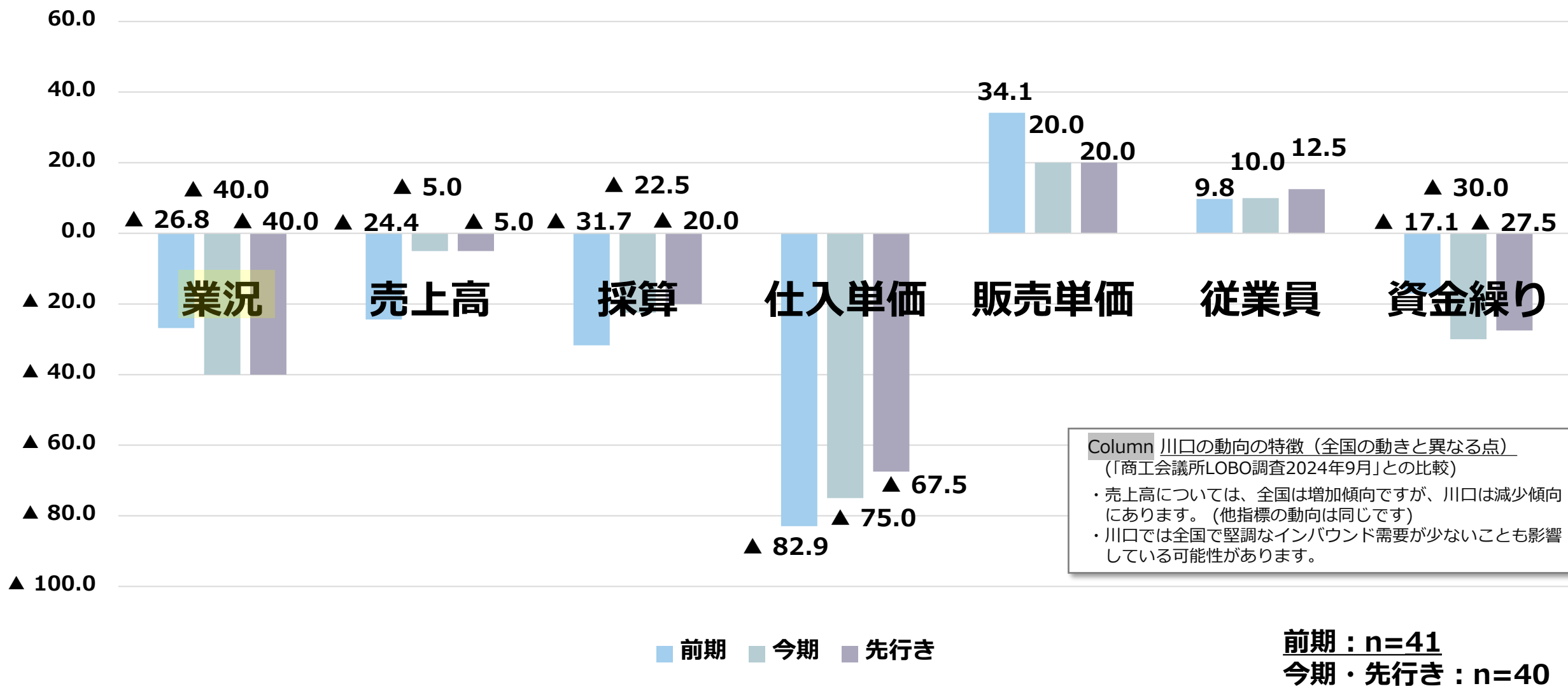
## 【景況感】 ◆卸売業の動向（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）



### 考察

- ・業況は、今期は販売単価の上昇等で悪化傾向が鈍化するも、先行きは悪化傾向が進行する見通しである。
- ・売上高は、今期は販売単価の上昇等で増加が続くが、先行きは減少へ転じる見通しである。
- ・採算は、今期は販売単価の上昇等の影響で悪化傾向が鈍化するも、先行きは悪化傾向が進行する見通しである。
- ・仕入単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、円安解消への期待等から上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・販売単価は、今期は上昇傾向がやや進行するものの、先行きは上昇傾向が鈍化する見通しである。
- ・従業員は、今期・先行き共に人手不足が続くものの、不足傾向は鈍化する見通しである。
- ・資金繰りは、今期・先行き共に悪化が続くものの、悪化傾向は鈍化する見通しである。

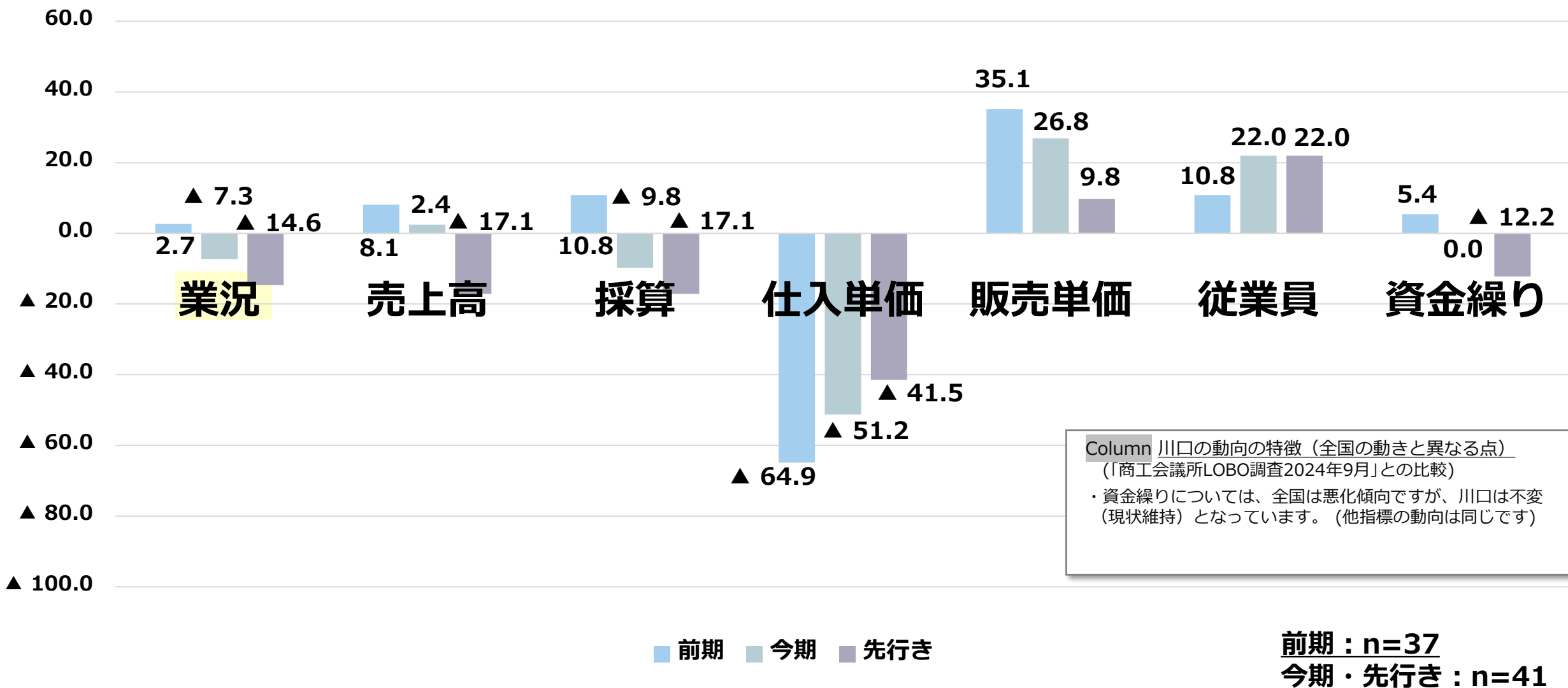
## 【景況感】 ◆小売業の動向（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）



### 考察

- ・業況は、販売単価減速や資金繰り不安等から今期は悪化傾向が進行し、先行きは悪化傾向が続く見通しである。
- ・売上高は、今期・先行き共には減少が続くものの、減少傾向は鈍化する見通しである。
- ・採算は、今期・先行き共に悪化が続くものの、売上高と歩調を合わせて悪化傾向は鈍化する見通しである。
- ・仕入単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・販売単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、消費者の買い控え等で上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・従業員は、今期・先行き共に人手不足が続き、不足傾向は進行する見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向が進行し、先行きは悪化傾向が鈍化する見通しである。

## 【景況感】 ◆サービス業の動向（前期(4-6月)-今期(7-9月)-先行き(10-12月)）

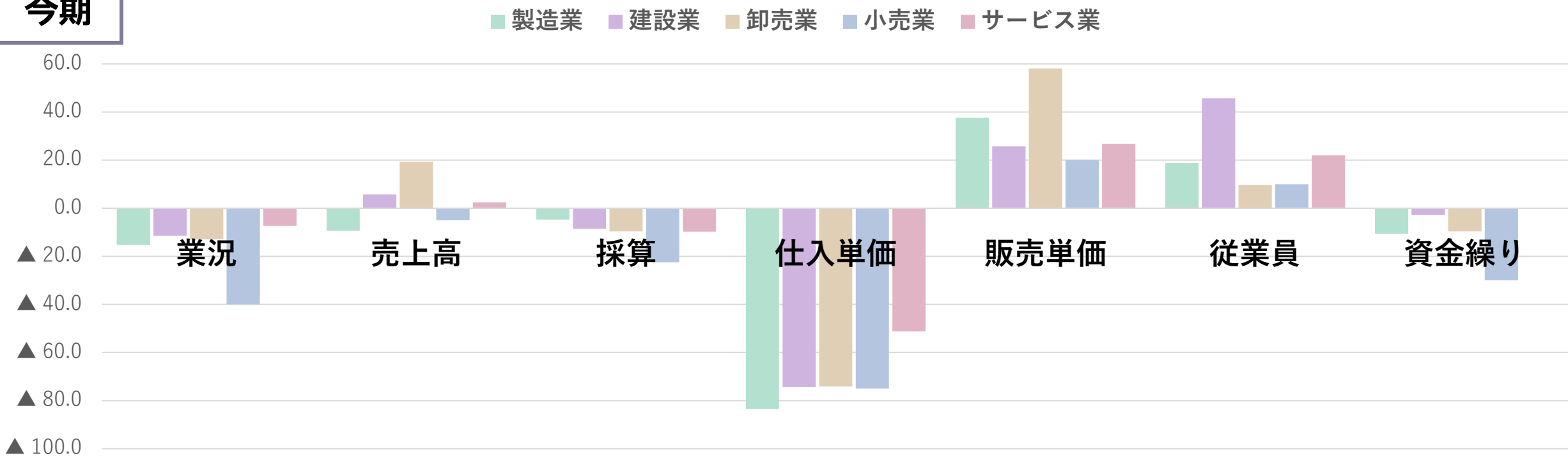


### 考察

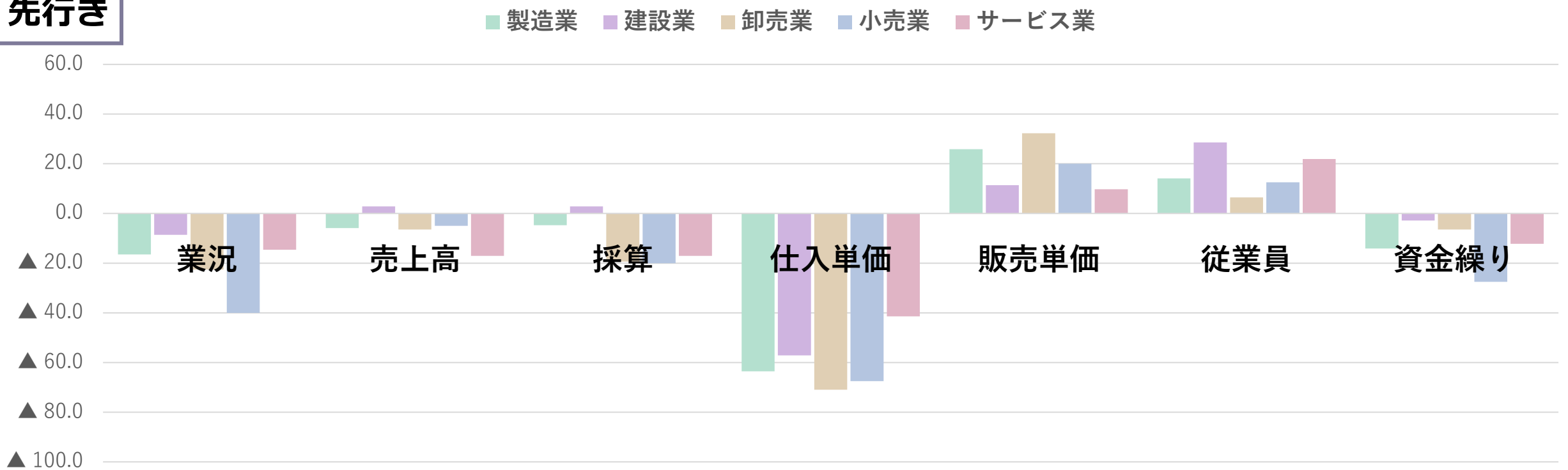
- ・業況は、売上高の鈍化や採算の悪化に伴い、今期は悪化に転じ、先行きは悪化傾向が進行する見通しである。
- ・売上高は、販売単価減速等の影響で、今期は増加傾向が鈍化し、先行きは減少に転じる見通しである。
- ・採算は、売上高減速等の影響で、今期は悪化に転じ、先行きは悪化傾向が進行する見通しである。
- ・仕入単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、上昇傾向が鈍化する見通しである。
- ・販売単価は、今期・先行き共に上昇が続くものの、消費減退等の影響で上昇傾向は鈍化する見通しである。
- ・従業員は、今期は不足感が進行し、先行きは不足感が継続する見通しである。
- ・資金繰りは、今期は不変（現状維持）となり、先行きは悪化に転じる見通しである。

# 【景況感】 ◆業種別の動向（まとめ）

今期



先行き



## 【参考資料】 ◆ 調査概要・回答者の状況

### 調査概要

調査期間：2024（令和6）年10月1日（火）～10月23日（水）

調査対象：会員事業所2,100件（FAX1,068件、メール1,032件） ⇒ 回答数：242件（回答率11.5%）

### 回答者の状況

#### ◆ 属性

| 業種        | 実数         | 割合          |
|-----------|------------|-------------|
| 製造業       | 85         | 35.1%       |
| 建設業       | 35         | 14.5%       |
| 卸売業       | 31         | 12.8%       |
| 小売業       | 40         | 16.5%       |
| サービス業     | 41         | 17.0%       |
| その他       | 10         | 4.1%        |
| <b>総計</b> | <b>242</b> | <b>100%</b> |

| 業歴        | 実数         | 割合          |
|-----------|------------|-------------|
| 5年未満      | 12         | 5.0%        |
| 5～10年     | 10         | 4.1%        |
| 11～20年    | 33         | 13.6%       |
| 21～30年    | 22         | 9.1%        |
| 31年以上     | 165        | 68.2%       |
| <b>総計</b> | <b>242</b> | <b>100%</b> |

| 資本金           | 実数         | 割合          |
|---------------|------------|-------------|
| 個人事業主         | 21         | 8.7%        |
| 500万円以下       | 70         | 28.9%       |
| 500万円超～1千万円以下 | 74         | 30.6%       |
| 1千万円超～3千万円以下  | 42         | 17.3%       |
| 3千万円超～5千万円以下  | 20         | 8.3%        |
| 5千万円超～1億円以下   | 9          | 3.7%        |
| 1億円超～         | 4          | 1.7%        |
| その他・未記入       | 2          | 0.8%        |
| <b>総計</b>     | <b>242</b> | <b>100%</b> |

| 従業員数      | 実数         | 割合          |
|-----------|------------|-------------|
| 0～5人      | 126        | 52.1%       |
| 6～20人     | 67         | 27.7%       |
| 21～50人    | 27         | 11.2%       |
| 51～100人   | 10         | 4.1%        |
| 101～300人  | 9          | 3.7%        |
| 301人以上    | 1          | 0.4%        |
| 未回答       | 2          | 0.8%        |
| <b>総計</b> | <b>242</b> | <b>100%</b> |

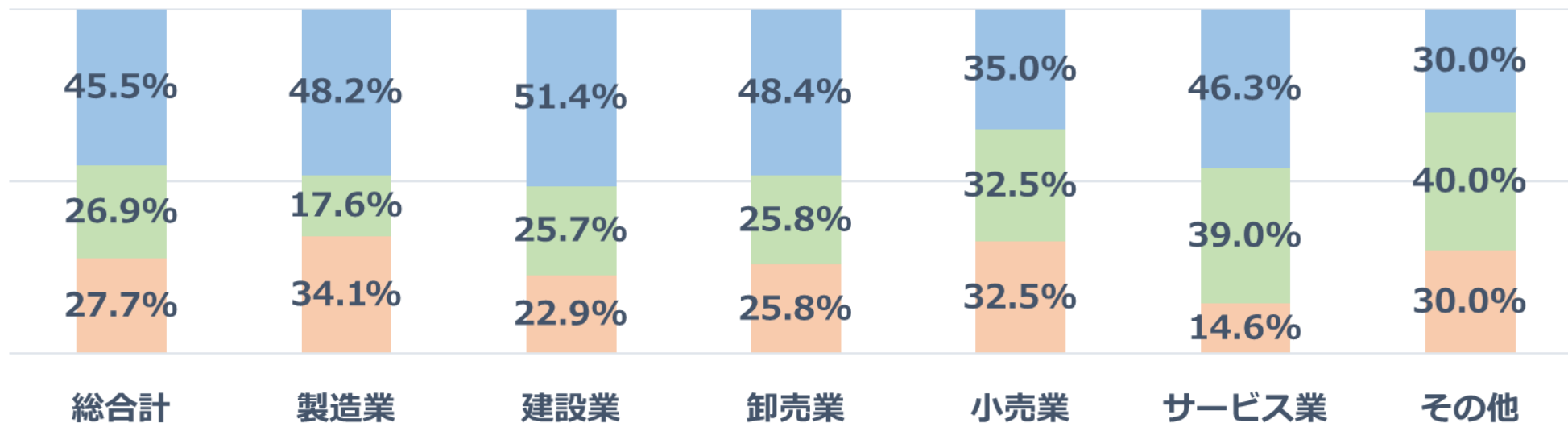
#### ◆ 収益状況（直近の決算）

100.0%

■ 黒字  
■ 収支トントン  
■ 赤字

50.0%

0.0%



# 【参考資料】 ◆第3回（7-9月期）川口商工会議所 クローズアップ市内景況調査 アンケート用紙

川口商工会議所 総合政策課 (FAX 048-228-2221)

## 第3回（7-9月期）川口商工会議所クローズアップ市内景況調査へのご協力をお願い

2024年10月1日

会員のみなさまへ（必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。）

日ごろより、本商工会議所の事業運営に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「クローズアップ市内景況調査」を実施しております。このたび、第3回（7-9月期）調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、10月23日（水）までに、FAX またはアンケートフォーム（右 QR コード）にてご返信いただきますようお願いいたします。皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。



川口商工会議所

### アンケート調査票

問1 貴社の状況についてお伺いします。（1）～（5）についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

（1）業種 \*複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

差し支えなければ、（ ）内に詳しい業種もご記入ください。例）建設業（造園工事業）

|          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1 製造業( ) | 2 建設業( )   | 3 卸売業( ) |
| 4 小売業( ) | 5 サービス業( ) | 6 その他( ) |

（2）業歴

|         |         |           |           |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1 5年未満  | 2 5～10年 | 3 11年～20年 | 4 21年～30年 |
| 5 31年以上 |         |           |           |

（3）資本金

|                |                |                 |
|----------------|----------------|-----------------|
| 1 個人事業主        | 2 500万円以下      | 3 500万円超～1千万円以下 |
| 4 1千万円超～3千万円以下 | 5 3千万円超～5千万円以下 | 6 5千万円超～1億円以下   |
| 7 1億円超～        | 8 その他          |                 |

（4）従業員（正社員）数（パート・アルバイトを除く）をご記入ください。

\_\_\_\_\_人（代表者を除く）

（5）収益状況（直近の決算）

|      |          |      |
|------|----------|------|
| 1 黒字 | 2 収支トントン | 3 赤字 |
|------|----------|------|

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

（1）今期（前年同月比）

|         |                             |                             |                             |
|---------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 売上高  | <input type="checkbox"/> 増加 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 減少 |
| 2. 採算   | <input type="checkbox"/> 好転 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 悪化 |
| 3. 仕入単価 | <input type="checkbox"/> 下落 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 上昇 |
| 4. 販売単価 | <input type="checkbox"/> 上昇 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 下落 |
| 5. 従業員  | <input type="checkbox"/> 不足 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 過剰 |
| 6. 業況   | <input type="checkbox"/> 好転 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 悪化 |
| 7. 資金繰り | <input type="checkbox"/> 好転 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 悪化 |

（2）向こう3カ月の先行き見通し（今月比）

|                             |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 増加 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 減少 |
| <input type="checkbox"/> 好転 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 悪化 |
| <input type="checkbox"/> 下落 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 上昇 |
| <input type="checkbox"/> 上昇 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 下落 |
| <input type="checkbox"/> 不足 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 過剰 |
| <input type="checkbox"/> 好転 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 悪化 |
| <input type="checkbox"/> 好転 | <input type="checkbox"/> 不変 | <input type="checkbox"/> 悪化 |

問3 貴社の人材確保・人手不足についてお伺いします。

問3-1 貴社の人材充足状況について、選択肢から1つお選びください。

- 1：適正である 2：過剰である 3：人手不足の状況である → 問3-2へ  
4：その他（ )

問3-2 ※問3-1で選択肢「3：人手不足の状況である」と回答した方にお伺いします。

人手不足と感じるセクション（部署）について、選択肢からお選びください（複数回答可）。

- 1：総務（経理・管理スタッフ） 2：営業職 3：IT関連職（SE など）  
4：技術・技能・設計スタッフ 5：現場スタッフ（サービススタッフ、職人、運輸、工員など）  
6：管理職 7：その他（ )

問3-3 ※問3-1で選択肢「2：人手不足の状況である」と回答した方にお伺いします。

貴社で求める人材の経歴について、選択肢からお選びください（複数回答可）。

- 1：高卒の新卒人材 2：大卒・短大卒・専門学校卒の新卒人材  
3：経験豊富な中途採用人材 4：学歴・職歴は問わない 5：その他（ )

問3-4（改めて全ての方に、お伺いします）

人材確保・人手不足の対応策として、貴社が取り組んでいるものについて、選択肢からお選びください（複数回答可）。

- 1：待遇面の改善（正社員登用、賞金や賞与の引上げ）2：働きやすい職場環境づくり・コミュニケーションの活性化  
3：福利厚生充実 4：公平で公正な人事評価 5：働き方の多様化やワークライフバランスの推進  
6：仕事内容の魅力の向上・やりがいの付与 7：業務プロセスの見直しなどによる効率化  
8：機械化や自動化の実施 9：定年延長やシニアの再雇用 10：多様な人材の積極的な採用・登用  
11：アウトソーシング（外部委託）の活用 12：副業人材の活用 13：採用媒体の多様化  
14：その他（ )

問3-5 行政や商工会議所へ期待する、人手不足問題への方策について、選択肢からお選びください（複数回答可）。

- 1：雇用関係助成金・補助金の拡充 2：合同企業面接会の実施  
3：人材育成や採用に関するセミナーの実施 4：ホームページ内のマッチング支援  
5：採用に向けた SNS・HP の活用支援・情報提供  
6：その他（ )

問4 厚生労働省の雇用関係助成金の活用状況について、最も近いものを選択肢から1つお選びください。

- 1：今までに活用したことがある 2：知ってはいるが、申請したことはない  
3：聞いたことがない・知らない 4：その他（ )

\*雇用関係助成金（厚生労働省管轄で15種類ほどあり、一定の条件を満たした上で人材雇用を行うと利用できる人手不足に役立つ支援制度）については専門相談窓口を設置していますので、ぜひご活用ください。

（コメント欄・・・以下の事柄等についてご意見や事例をお寄せください）※調査結果に掲載することがあります。）

- ①経営への影響（円安、原材料・エネルギー価格・労務費等のコスト増や価格転嫁、人手不足、適用猶予業種（建設業やトラックドライバー等）への時間外労働の上限規制適用（2024年4月施行）、物流2024年問題（輸送費上昇、納品遅延、仕入先の近場への変更等）、政府の経済対策、日銀の金融政策、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）、国内外の観光需要、祭事等のイベントや地域のトピック、天災、設備投資、生産・出荷・在庫、客数・客単価、公共工事・民間工事）  
②今回の調査に関連する具体的な意見や事例

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。回答率50%以上の会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下の内容をご記入ください。（非公開内容となります。）

|                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| 事業所名                |                             |
| 今後、希望するアンケートの受信方法   | FAX ・ メール（いずれかに○をお願いいたします。） |
| メールアドレス（メールでご希望の場合） |                             |

ご協力ありがとうございました。\*回答いただいた内容については、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。

問い合わせ：川口商工会議所 総合政策課 (TEL:048-228-2220)

調査方法：FAX・メール・郵送による送付、FAX・Web（Googleフォーム）による回答  
分析方法：売上高、採算、従業員、業況などについて、「増加」（好転など）と答えた企業から「減少」（悪化など）と答えた企業割合を差し引いたDI値を中心に分析  
（DI:Diffusion Index）